

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：教育企画課] P.352

1201 小中学校適正規模適正配置審議会に要する経費 783,362 円 (198,345 円)

[一財 783,362 円]

目的

児童生徒の減少に伴う教育環境の整備を図るため、取手市立小中学校適正規模適正配置審議会を設置し審議検討を行う。

内容

教育委員会より委嘱された 12 人の委員により、今年度は審議会を 4 回開催した。

また、教育委員会では 20 才以上の市民 2,000 人を対象に「取手市立小中学校に関する市民意識調査」を実施した。

効果

市民意識調査は審議を進める上での貴重な参考資料になり、4 回開催の審議会では答申に向けての十分な審議検討がなされた。

[担当：学務課] P.352

2201 通学送迎に要する経費 952,560 円 (736,960 円)

[国・県 326,000 円 一財 626,560 円]

* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 326,000 円]

目的

旧高須小学校が桜が丘小学校に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第 1 地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

内容

対象児童を、登下校時に桜が丘小学校と自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第 1 地区の児童 2 人

5 年生・女・・・1 人 1 年生・男・・・1 人

効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育企画課] P.354

2001 奨学生給付金 1,142,500 円 (1,804,900 円)

[その他 130,066 円 一財 1,012,434 円]

* 特財内訳

[財産収入：奨学基金利子 130,066 円]

目的

経済的に修学が困難な高校生の保護者に対し、育英資金を給付し有為な人材を育成する。

内容 給付月額 9,600 円

年度	1 年生	2 年生	3 年生	合 計
H18	6 人	1 人	3 人	10 人
H17	2 人	3 人	11 人	16 人

効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

[担当：教育企画課] P.354

2101 奨学生貸付金 6,360,000 円 (5,760,000 円)

[その他 6,006,800 円 一財 353,200 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 6,006,800 円 償還者数：34 名]

目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金の貸し付けをし、有為な人材を育成する。

内容

貸付額 ・国立大 30,000 円/月 ・私立大 40,000 円/月

年度	国立大	私立大	合 計
H18	3 人	11 人	14 人
H17	4 人	9 人	13 人

効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.354

0501 教育振興に要する経費 75,574,667 円 (29,374,440 円)

[国・県 10,140,000 円 一財 65,434,667 円]

* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 10,000,000 円]

[県委：心と体を育む食育推進事業委託金 100,000 円]

[県委：ハートいっぱい推進事業委託金 40,000 円]

目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力など「生きる力」を育むことをねらいとして、教育の充実を図る。

内容

・英語指導助手業務委託料 64,962,975 円

英語指導助手 13 人(中学校各校に 1 人配置、小学校は 4 校に 1 人配置)の派遣を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手との交流により国際理解の推進を図った。

・特色ある学校づくり補助金 5,600,000 円

小・中学校における教職員、家庭、関係諸機関・団体と協力しながら、学校の活

性化を図るとともに特色ある学校づくりのための事業活動に対し、補助金を交付した。

小学校 200,000 円×18 校

中学校 250,000 円× 8 校

・現職教育振興事業補助金 1,395,000 円

・その他(需用費・負担金等) 3,616,692 円

効果

各小中学校児童生徒の英語教育、及び国際理解教育の充実が図られた。また補助金を活用し、学校の活性化と特色ある学校づくりの推進が図られた。

[担当：指導課] P.356

2301 適応指導教室事業に要する経費 23,188,325 円 (23,566,043 円)

[一財 23,188,325 円]

目的

社会問題になっている、いじめや不登校児童生徒等の問題に対応するため、学校や関係諸機関との連携のもとに、適切な援助・指導を行う。

内容

8 人の教育相談員と指導主事が、集団活動や教科指導、個別カウンセリング等を行い、児童生徒が徐々に集団に馴染み、学校生活に戻れるよう援助し、不登校等に関する保護者からの相談に応じた。

効果

29 人の通級者(小・中学生)のうち、23 人が学校生活に復帰することができた。

年 度	通級者数	部分復帰	完全復帰
H18	29 人	12 人	11 人
H17	15 人	7 人	3 人

[担当：指導課] P.358

2501 心の教室相談員研究活用事業に要する経費 1,332,000 円 (1,351,000 円)

[一財 1,332,000 円]

目的

生徒の悩みやストレスを和らげ、心のゆとりをもてる学校環境を整える。

内容

心の教室相談員 8 人を中学校各校に 1 人ずつ配置し、生徒の悩み相談を行うとともに地域と学校の連携に努めた。

年 度	相談者数	相談件数
H18	194 人	623 件
H17	377 人	718 件

効果

生徒および保護者の悩みの相談にあたり、思春期の生徒達の不安をやわらげることができた。また、子育ての中で生じる迷いや学校生活への不平不満を抱きがちな保護者に対して適切なアドバイスをすることで、親子間の関係改善や保護者と学校との間の信頼関係をサポートすることができた。

[担当：指導課] P.358

2601 特別支援教育相談体制整備事業に要する経費 747,000 円 (0 円)

[国・県 747,000 円]

* 特財内訳

[県委：特別支援教育相談体制整備事業委託金 747,000 円]

目的

地域における特別支援教育相談体制を充実するとともに、小・中学校等における特別支援教育校内支援体制の整備と活用に関する研究を行う。

内容

(1) 取手市支援会議の開催 3 回実施

LD・ADHD・高機能自閉症等を含めた障害のある幼児児童生徒に対する教育相談の整備を促進するため、特別支援教育相談員、学校長、学識経験者、関係機関の職員、教育委員会担当者(15 人)からなる取手市支援会議を設置した。

(2) 特別支援教育相談チームによる相談活動

- ・相談員：市内小中学校の特別支援教育担当者 8 人、伊奈養護学校教諭 2 人
- ・相談件数

小中学校への巡回相談実施 5 件

未就学児への巡回相談実施 8 件

合同相談会「ほのぼの相談会」 9 件

(3) 特別支援教育モデル校の実践

- ・研究モデル校：取手小、藤代南中

筑波大学大学院准教授をアドバイザーとして招聘し、年間 5 回の研修会を実施

(4) 特別支援教育理解啓発講演会の開催

「発達障害のある子の理解と支援のあり方」

参加者：市内幼小中の教職員 71 人

効果

- ・相談チームの活用により、LD・ADHD・高機能自閉症等を含めた障害のある幼児児童生徒に対する教育相談体制が整備された。
- ・モデル校の研究実践により、障害のある幼児児童生徒理解と支援方法についての校内支援体制が整備された。
- ・幼小中学校やこども発達センター等の関係機関との連携が図られた。

[担当：指導課] P.360

2701 児童生活相談員配置事業に要する経費 8,739,377 円 (8,714,603 円)

[一財 8,739,377 円]

目的

児童の悩みやストレスを和らげ、基本的な生活習慣の定着を図る。

内容

各小学校の実情に応じて 22 人の児童生活相談員を配置し、1 人あたり週 15 時間・年 36 週にわたり、児童との相談活動や指導を通じて、担任や生徒指導主事等への支援を行った。年間 1,600 人余の児童への生活指導にあたった。

効果

児童の生活上の支援を積極的に行うことによって、学校生活への適応や学習に集中して取り組むことができるなどの大きな効果が得られた。また、担任教師との連携により、安全面のサポート、教室間移動や広範囲での学習活動などの際には、学習活動を側面から支えることができた。

[担当：指導課] P.360

3601 「心の授業」「心の先生」講師派遣事業に要する経費 786,000 円(807,000 円)

[一財 786,000 円]

目的

充実した道德教育を進める一環として、外部講師を活用し、児童生徒の豊かな人間性、生きることへの自覚を培う。

内容

文化人や哲学者、スポーツ選手などの著名人の他、郷土史家や在日外国人、企業経営者や消防隊員、地域の方、保護者等を「心の先生」として小中学校に派遣し、小中学校各クラス年間1回ずつ授業を行った。

講師謝礼 @3,000 円×のべ活用回数 262 回 = 786,000 円

効果

平和の尊さについて戦争体験から、心を込めるということシェフから、美ということ陶芸家から、命の大切さを動物病院の獣医師から、というように「心の先生」から貴重な話をうかがうことができた。児童生徒の道德性を養い価値観を持たせる上で、実体験にもとづいた話や生き方から多くを学ぶことができ、児童生徒はもとより教師にとっても大きなプラスとなる事業となった。

[担当：指導課] P.360

3801 スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業に要する経費 1,235,000 円

[国・県 1,235,000 円] (1,780,000 円)

* 特財内訳

[県委：スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業委託金 1,235,000 円]

目的

不登校児童生徒の早期発見、早期対応をはじめ、より一層きめ細かな支援を行うため、教員や適応指導教室指導員の研修、家庭への訪問指導など、不登校対策に関する中核的機能を充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムを整備する。

内容

- (1) 3市（取手市・守谷市・牛久市）適応指導教室間との連携を図り、学校復帰に向けたプログラムを研究し、実践した。
- (2) 不登校に苦慮する学校にスクーリング・サポート・ネットワークセンターとして積極的にかかわり、その減少に向けて支援を行った。
 - ・不登校児童生徒及び保護者への効果的な支援の在り方
 - ・不登校問題に取り組む学校に対する効果的な援助の在り方
 - ・不登校児童生徒を支援する体験活動プログラムの在り方

効果

適応指導教室に通級している児童生徒が、部分登校を実施する際に担任や保護者との連携を図ることにより、適切な対応ができた。また、守谷市・牛久市教育委員会と連携を進め、体験活動プログラムなどで多くの成果があった。

[担当：指導課] P.360

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 2,730,000 円 (2,457,000 円)

[一財 2,730,000 円]

目的

小中学生が社会科や総合的な学習の時間などにおいて、市内及び近隣市町村文化施設等への学習の機会、実践活動、見学等の際の交通手段を確保する。

内容

社会科学習・総合的な学習の時間等に、移動の際のバス運行委託を行った。

効果

校外学習等において、安全かつ効率よく見学先へ移動することができ、ゆとりのある学習時間の確保と、効果的な見学や体験活動ができた。

[担当：指導課] P.360

4001 子どもと親の相談員活用調査研究事業に要する経費 2,414,000 円

[国・県 1,400,000 円 一財 1,014,000 円] (2,520,000 円)

* 特財内訳

[県委:子どもと親の相談員活用調査研究事業委託金 1,400,000 円]

目的

不登校解消は、早期の段階での対応が効果的である。中学校に配置されている「心の教室相談員」と同じように小学校にも「子どもと親の相談員」として、子どもの悩みや親の相談に応じ、不登校解消に取り組む。

内容

校長の指揮監督の下に、主に以下の業務を行った。

- (1) 児童及び保護者の相談相手
- (2) 家庭・地域と学校の連携支援
- (3) 幼・小・中連携、関係機関、児童福祉施設との連携支援
- (4) その他学校の教育相談活動支援

年 度	相談者数	相談件数
H18	319 人 (市内 8 小学校)	980 件
H17	466 人 (市内 7 小学校)	1,084 件

効果

児童および保護者の悩み相談のための面談や電話相談を継続的に行うことによって、児童の不安感の解消や保護者の支援となった。こうした悩みの解消や緩和が、不登校の改善につながり、ひきこもりがちであった児童が学校に来ることができ、保健室や特別教室に入ることができた。また、保護者の学校への不安や不満の解消にもつながった。

[担当：指導課] P.360

4201 日本語指導ボランティア活用事業に要する経費 2,166,487円(315,510円)

[一財 2,166,487円]

目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

内容

- (1)学校での日本語指導への協力
- (2)教科書・指導資料等の翻訳
- (3)学校での保護者との通訳等

配置指導員数 6人(中国語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、英語)

効果

日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、学校生活の不安を解消できた。

[担当：指導課] P.362

4301 スクールライフサポーター活用調査研究事業に要する経費 1,260,000円

[国・県 1,260,000円]

(1,260,000円)

* 特財内訳

[県委:スクールライフサポーター活用調査研究事業委託金 1,260,000円]

目的

子どものお兄さん・お姉さんの存在としてスクールライフサポーターが子どもと関わり、人間関係を築き、良き相談相手となり、不登校問題を解消する。

内容

- (1)不登校や不登校気味の児童に対する家庭訪問等による支援
- (2)休み時間を活用し、相談相手、遊び相手としての支援
- (3)授業時間における学習支援

年 度	配置校数	相談者数	相談件数
H18	3校	811人	1,611件
H17	3校	297人	779件

効果

登校渋りの児童生徒が、気持ちが安らぐような会話、遊び、同伴登校などの時間をスクールライフサポーターと共有することで、不登校に至らずに済ませることができた例が数多く見られた。比較的年齢が近いことがプラスに作用し、自然にふれあう時間をもつことができ、子ども同士のコミュニケーション能力を高める役割も果たした。

[担当：指導課] P.362

4501 学力向上推進事業に要する経費 450,411円(0円)

[一財 450,411円]

目的

児童生徒に基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り、確かな学力を育成するため、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図った。

内容

- 6/ 1 第1回プロジェクト会議
7/21 小学校英語活動研修会
7/24 第2回プロジェクト会議
8/22 第1回授業力向上研修会(教材研究、指導案づくり)
9/29 第3回プロジェクト会議
10月~2月
授業研究会 10回
1/30 第2回授業力向上研修会(講演会)
「学校に求められる読解力を育成するための取り組み」
2月~3月
市内小中学校児童生徒用「家庭学習の手引き」作成

効果

児童生徒向けに「家庭学習の手引き」を作成し、配布することで家庭学習への取り組みが徐々に身につく、基礎学力の向上につながった。教員向けには、授業力向上研修会・授業公開・講演会を実施し、より実践的・具体的な内容にすることで、即実践につながる実効性のある研修となった。このことで、教員の意識改革、授業技術・指導力の向上、研修意欲の増進につながった。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.362

1001 青少年健全育成に要する経費 11,261,098 円 (11,483,350 円)

[国・県 145,000 円 一財 11,116,098 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員事業補助金 145,000 円]

目的

青少年センターを中心とした特別青少年相談員、青少年相談員の相談活動及び街頭指導等により、青少年の健全育成を図るとともに、青少年育成団体に助成を行い、青少年の非行を防止し、青少年が安心して生活できる街づくりを目指す。

内容

・報酬

青少年相談員報酬 6,288,600 円 (月額 9,400 円 56 人)

特別青少年相談員報酬 2,712,000 円 (月額 113,000 円 2 人)

・負担金，補助及び交付金 11 団体 1,613,900 円

○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.364

1101 青少年問題協議会に要する経費 149,026 円 (193,818 円)

[一財 149,026 円]

目的

青少年関係機関等の委員で構成される青少年問題協議会を開催し、関係機関の連絡調整を図るとともに、青少年の健全育成に関する総合的施策について調査・審議する。

また、善行青少年の表彰を実施し、市内の隅々に善行行為を広める。

内容

- ・ 青少年問題協議会委員報酬 37,800 円
- ・ 善行青少年表彰記念品 88,226 円

効果

青少年問題協議会を開催することにより、関係行政機関（警察、小中高校等）相互の連絡調整を図ることができた。

また、善行青少年の表彰を行い、善行行為を広めることができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.366

2001 小学校管理に要する経費 233,905,200 円 (205,663,767 円)

[国・県 21,572,018 円 地方債 29,500,000 円 その他 22,137 円 一財 182,811,045 円]

* 特財内訳

[国補：合併市町村補助金 15,200,000 円]

[県補：TT特別配置事業費補助金 6,372,018 円]

[市債：小学校整備事業債 18,953,865 × 75% 14,200,000 円]

[市債：合併特例債 15,303,750 × 95% 14,500,000 円]

[市債：地域再生事業債 15,303,750 × 5% 800,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 22,137 円]

目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

内容

- ・ パソコン室エアコン取付工事を 5 校（山王小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小）で実施した。（15,303,750 円）
- ・ 不審者対策の対応として、学校施設内で緊急事態が発生した場合、現場を離れることなく緊急通報ができる非常通報システム通信機器を全小学校 18 校に設置した。（18,953,865 円）
- ・ 普通教室用の机、椅子の更新を 6 校（1～6 年生 山王小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）で実施した。（15,282,960 円）
- ・ TT特別配置事業により、県からのTT加配がついていない小学校 8 校（小文間小、吉田小、稲小、山王小、六郷小、藤代小、久賀小、宮和田小）にTT非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った。（12,950,000 円）
- ・ 教育補助員を 9 校（久賀小、桜が丘小、六郷小、宮和田小、永山小、戸頭西小、取手小、白山小、戸頭東小）に配置し、障害のある児童の教育支援を行った。（7,877,927 円）

効果

- ・ TT非常勤講師の配置により個人差に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が

図れた。

- ・教育補助員を配置することで、障害のある児童の教育活動の充実が図れた。
- ・パソコン室に空調機を導入することで、機器の保護及び良好な学習環境が整った。
- ・年次計画により新基準対応の机と椅子の更新（1～6年生）を行い、教育環境の充実が図れた。
- ・学校内への不審者侵入対策として、非常通報システム通信機器を小学校18校に設置し、児童の安全確保と安心・安全な学校づくりの推進が図れた。

[担当：教育施設課] P.368

2101 小学校施設管理に要する経費 45,101,550 円 (46,819,861 円)

[一財 45,101,550 円]

目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

内容

(1) 需用費 (単位：円)

項 目	内 容	金 額
修繕料	各小学校の施設修繕料	8,180,453
	各小学校の施設修繕料(学校配当分)	7,171,296

(2) 委託料 (単位：円)

委 託 名	内 容	委託料
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,517,036
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃(小文間小、永山小、高井小、藤代小、山王小、六郷小、宮和田小)	3,055,500
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	3,163,650
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	315,000
給水管内薬剤洗浄委託	給水管内薬剤洗浄による清掃(永山小)	1,155,000
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,608,200
プールろ過装置保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	576,240
高架水槽及び受水槽清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	1,352,000
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草(取手小、白山小)	504,000
給水管漏水調査委託	漏水調査(久賀小)	156,450
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,297,800
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	2,031,750
空調設備保守点検委託	各小学校の空調設備の保守点検	1,389,990
テレビ共同受信設備保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検(取手小)	1,680,000
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検(取手小)	604,800
自動ドア保守点検委託	自動ドアの保守点検(取手小)	220,500
太陽熱温水設備保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検(取手小)	57,750
校庭散水設備保守点検委託	校庭散水設備の保守点検(取手小、寺原小)	69,300
雨水調整槽等保守点検委託	雨水調整槽の保守点検(取手小)	325,500
遠赤外線暖房機保守点検委託	遠赤外線暖房機の保守点検(取手小)	273,000
風力発電設備保守点検委託	風力発電設備の保守点検(取手小)	189,000

(3)使用料及び賃借料、原材料費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
使用料及び賃借料	電柱共架料	117,180
原材料費	各小学校施設補修用材料の購入	138,633
	各小学校施設補修用材料の購入(学校配当分)	320,693

効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：保健給食課] P.370

2201 小学校保健衛生に要する経費 31,721,944 円 (32,230,215 円)

[その他 2,388,320 円 一財 29,333,624 円]

* 特財内訳

[負担金:日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×5,192人=2,388,320円]

目的

学校保健法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

内容

- ・学校嘱託医、歯科医、薬剤師(産業医) 70人(18人)
- ・児童・教職員健康診断委託 委託先(社)取手市医師会、(財)茨城県総合健診協会

(単位：人)

区分	尿	蟯虫	貧血	心臓	胃	結核・肺ガン	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	全学年	2・4・6年職員	1年職員	40歳以上職員	職員	全学年	職員
H18	5,920	5,511	2,452	1,425	18	229	5,514	317
H17	5,898	5,573	2,843	1,037	18	245	5,573	326

効果

定期検診を実施することにより、児童に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.372

2001 小学校教育振興に要する経費 16,080,036 円 (16,645,236 円)

[一財 16,080,036 円]

目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(18校) 13,372,963円

卒業記念品(英和辞典) 1,009,417円

効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、能率のよい学習効果が得られた。

[担当：学務課] P.372

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 28,439,512 円 (27,031,843 円)

[一財 28,439,512 円]

目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

内容

(単位：円)

区分	児童用教材	特殊学級教材	理科教材	図 書	その他	計
H18	17,568,725	595,581	2,997,446	5,485,868	0	26,647,620
H17	16,829,976	536,445	2,865,747	4,947,971	34,956	25,215,095

効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.374

2201 小学校コンピュータ設備に要する経費 55,831,189 円 (51,782,628 円)

[一財 55,831,189 円]

目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

内容

主に小学校 18 校のパソコン使用料 (各校 21 台) に要する経費である。

パソコン使用料 48,600,036 円

パソコン教材充実費 3,482,955 円

ネットワーク配信コンテンツ接続業務委託費 (旧藤代地区 6 校) 630,000 円

学校ポータル運用管理業務委託 1,995,000 円

その他 (消耗品・修繕料) 1,123,198 円

効果

小学校 18 校において、ネットワーク配信コンテンツ推進活用事業を展開し、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務課] P.374

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 24,566,681 円 (23,419,101 円)

[国・県 613,000 円 一財 23,953,681 円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 $130,000 \times 1/2 = 65,000$ 円]

[国補：特殊教育就学奨励費補助金 $1,096,000 \times 1/2 = 548,000$ 円]

目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護児童就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	計
H18	27 人	360 人	387 人
H17	22 人	345 人	367 人

・特殊教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H18	81 人	48 人
H17	69 人	46 人

効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.374

2901 小学校特別活動助成に要する経費 1,789,203 円 (2,107,845 円)

[一財 1,789,203 円]

目的

諸発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

内容

諸発表大会児童派遣費補助金	617,360 円
陸上記録会補助金	1,086,531 円
その他（賞状印刷代）	85,312 円

効果

諸発表、体育大会等への参加により、児童のスポーツや音楽への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育施設課] P.376

2101 小学校施設整備に要する経費 115,890,413 円 (143,223,319 円)

13,650,000 円 は、うち 17 年度繰越分

[国・県 27,850,000 円 4,550,000 円 地方債 33,600,000 円 9,100,000 円

一財 54,440,413 円]

* 特財内訳

[国補：公立学校施設整備費補助金 13,650,000 × 1/3 = 4,550,000 円]

[国補：合併市町村補助金 23,300,000 円]

[市債：六郷小学校体育館石綿対策事業債

(13,650,000 - 4,550,000) × 100% 9,100,000 円]

[市債：小学校整備事業債 32,652,900 × 75% 24,500,000 円]

目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

内容

(1) 委託料

(単位 : 円)

委託名	内 容	工 期	委託料
小学校耐力度調査 業務委託	耐力度調査 (藤代小体育館)	H18.7.8 ~ H19.1.31	3,045,000
小学校耐震診断調査 業務委託	白山西小耐震診断調査(校舎・体育館) 久賀小耐震診断調査(校舎・体育館)	H18.7.8 ~ H19.2.28	13,650,000 6,699,000
小学校飲用水槽改修工 事実施設計業務委託	受水槽・高架水槽設置工事の実施設計 (戸頭東小、稲小)	H18.6.7 ~ H18.8.15	567,000
藤代小旧校舎解体工事 実施設計業務委託	旧校舎解体工事の実施設計	H18.6.8 ~ H18.8.31	472,500

(2) 工事請負費

(単位 : 円)

工 事 名	工 事 内 容	工 期	工事費
小学校キュービクル 改修工事	LBS 改修(井野小) PAS 移設(久賀小) 漏電警報機改修(山王小) 外部照明用タイマー改修(六郷小) 非常用バッテリー交換(藤代小)	/	273,000 315,000 250,950 63,000 97,650
小学校トイレ改修工事	男子トイレ小便器バルブ改修(稲小) 職員トイレ大便器改修(吉田小) 職員トイレ大便器改修(高井小) 男子トイレ大便器改修(取手小) 男子・女子トイレ大便器改修(久賀小) 男子トイレ大便器改修(六郷小)	/	987,000 199,878 171,780 63,000 309,750 195,909
小学校ガス設備 改修工事	既存埋設白ガス管の老朽化に伴い、ポ リエチレン管へ敷設替工事(井野小)	H18.7.13 ~ H18.9.15	5,554,500
小学校消防設備 改修工事	桜が丘小救助袋改修工事 消防点検報告による指摘箇所 の改修工事(小文間小、寺原小、永山小、白 山西小、戸頭西小、吉田小、戸頭東小、 稲小、高井小、久賀小、井野小)	/	483,000 491,400
小学校飲用水槽 改修工事	戸頭東小高架水槽改修工事 既存高架水槽(FRP)撤去及び新設工 事(SUS 2.0×2.0×H2.5) 稲小受水槽改修工事 既存受水槽(FRP)撤去及び新設工事 (SUS 3.5×4.0×H2.5)	H18.10.7 ~ H19.2.15 H18.10.6 ~ H19.2.15	5,428,500 10,080,000
藤代小旧校舎解体工事	旧校舎解体工事 (R2 階・521 m ²)	H18.10.7 ~ H19.3.10	24,801,000
井野小防球ネット 設置工事	校庭東側防球ネット設置工事 (H=3.0m L=50.0m)	H18.6.7 ~ H18.7.30	1,207,500
小学校プールろ過機 改修工事	プールろ過機改修工事(山王小、久賀 小、藤代小、小文間小、取手小、稲小)	/	6,528,900
小学校プール改修工事	久賀小プール改修工事 藤代小プール改修工事	H18.5.13 ~ H18.6.20 H18.5.31 ~ H18.6.13	4,494,000 420,000

施設管理営繕工事	各小学校の営繕工事		14,886,689
六郷小体育館玄関天井・軒天石綿除去工事	体育館玄関天井・軒天井の石綿除去 153 m ²	H18.6.9 ~ H18.9.15	13,650,000

効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育施設課] P.378

2201 小学校建設事業に要する経費 29,661,640 円 (0 円)

[国・県 29,300,000 円 一財 361,640 円]

* 特財内訳

[国補：合併市町村補助金 29,300,000 円]

目的

白山小の校舎耐震補強・大規模改造工事实施設計及び藤代小体育館改築工事の実施設計を行い、教育環境の充実を図る。

内容

委託料

(単位：円)

委託名	内 容	工 期	工事費
小学校敷地測量 業務委託	学校敷地の測量(藤代小)	H18.5.13 ~ H18.11.15	3,822,000
電波障害事前調査委託	藤代小体育館改築工事に伴うテレビ 電波障害事前調査	H19.1.20 ~ H19.2.28	315,000
藤代小体育館改築工事 実施設計業務委託	体育館改築工事の実施設計	H18.8.9 ~ H19.2.15	13,440,000
白山小大規模改造工事 実施設計業務委託	大規模改造工事の実施設計	H18.8.9 ~ H19.2.15	12,075,000

効果

白山小の校舎耐震補強・大規模改造工事及び藤代小体育館改築工事に向けて、耐震性の確保と教育環境の整備を行う安全・安心な学校づくりのための準備が整った。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.380

2001 給食運営に要する経費 308,999,627 円 (295,004,296 円)

[その他 199,623,582 円 一財 109,376,045 円]

* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代(自校分) 199,623,582 円]

目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

内容

- (1) 学校給食調理業務を民間の専門業者へ 7 校(取手小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭東小、戸頭西小)委託した。
- (2) 臨時調理師賃金 5 人
- (3) 給食室内の衛生面を考慮し、換気扇及び給食排水槽の清掃委託等を実施した。

効果

栄養バランスのとれた内容豊かな給食の提供及び、給食環境の整備、環境衛生面での充実が図られた。

[担当：保健給食課] P.382

2101 給食施設整備に要する経費 4,865,599 円 (5,383,576 円)

[一財 4,865,599 円]

目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

内容

施設整備

- ・給食室手洗器（小文間小） 435,750 円
- ・給食室小荷物専用昇降機（宮和田小） 892,500 円

効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.384

2001 中学校管理に要する経費 88,179,922 円 (89,762,613 円)

[国・県 4,000,000 円 一財 84,179,922 円]

* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 4,000,000 円]

目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

内容

- ・普通教室用の机、椅子の更新を2校（1～3年生 藤代中、藤代南中）で実施した。（4,803,750 円）
- ・教育補助員を2校（取手東中、取手二中）に配置し、障害のある生徒の教育支援を行った。（1,498,520 円）

効果

- ・年次計画により新基準対応の机と椅子の更新（1～3年生）を行い、教育環境の充実が図れた。
- ・教育補助員を配置することで、障害のある生徒の教育活動の充実が図れた。

[担当：教育施設課] P.386

2101 中学校施設管理に要する経費 21,387,083 円 (21,964,638 円)

[一財 21,387,083 円]

目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

内容

(1) 需用費 (単位：円)

項目	内容	金額
修繕料	各中学校の施設修繕料	5,617,602
	各中学校の施設修繕料(学校配当分)	3,160,667

(2) 委託料 (単位：円)

委託名	内容	金額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,551,500
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃(取手二中、永山中、野々井中、藤代中、藤代南中)	1,522,500
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,401,750
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	252,000
給水管内薬剤洗浄委託	給水管内薬剤洗浄による清掃(永山中)	1,155,000
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	1,101,240
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	285,810
高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	716,500
給水管漏水調査委託	漏水調査(藤代中)	156,450
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	504,000
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	910,350
空調設備保守点検委託	各中学校の空調設備の保守点検	415,800

(3) 原材料費 (単位：円)

項目	内容	金額
原材料費	各中学校施設補修用材料の購入	131,250
	各中学校施設補修用材料の購入(学校配当分)	153,048

効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：保健給食課] P.386

2201 中学校保健衛生に要する経費 16,921,287円 (16,798,605円)

[その他 1,140,800円 一財 15,780,487円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×2,480人=1,140,800円]

目的

学校保健法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

内容

・学校嘱託医・歯科医・薬剤師(産業医) 35人(8人)

・生徒・教職員健康診断委託

委託先：(社)取手市医師会、(財)茨城県総合健診協会

(単位：人)

区分	尿	蟻虫	貧血	心臓	胃	結核	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	全学年	2年職員	1年職員	40歳以上職員	職員	全学年	職員
H18	2,932	2,627	906	1,250	4	137	2,684	179
H17	2,898	2,690	917	1,091	5	141	2,740	191

効果

定期検診を実施することにより、生徒に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.388

2001 中学校教育振興に要する経費 10,313,306 円 (10,138,512 円)

[一財 10,313,306 円]

目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (8校) 8,523,187 円

卒業記念品 (国語辞典) 1,378,482 円

効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、能率のよい学習環境が得られた。

[担当：学務課] P.388

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 18,515,005 円 (18,903,883 円)

[一財 18,515,005 円]

目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	選択教科	理科教材	図書	特殊学級	その他	計
H18	8,944,420	227,648	2,082,025	4,761,585	0	46,608	16,062,286
H17	8,998,157	223,230	2,026,755	4,494,408	0	656,670	16,399,220

効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.390

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 31,423,309 円 (27,830,209 円)

[一財 31,423,309 円]

目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

内容

パソコン使用料	29,562,960 円
パソコン教材充実費	1,384,500 円
その他(消耗品)	475,849 円

効果

中学校 8 校において、ネットワーク配信コンテンツ推進活用事業を展開し、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務課] P.390

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 23,927,654 円 (22,120,862 円)

[国・県 420,000 円 一財 23,507,654 円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 $108,000 \times 1/2 = 54,000$ 円]

[国補：特殊教育就学奨励費補助金 $732,000 \times 1/2 = 366,000$ 円]

目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	計
H18	9 人	225 人	234 人
H17	15 人	201 人	216 人

・特殊教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H18	45 人	27 人
H17	37 人	25 人

効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.390

2901 中学校特別活動助成に要する経費 11,396,479 円 (11,676,945 円)

[一財 11,396,479 円]

目的

諸発表・体育大会等（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）を通して生徒の活動

意欲を高める。

内容

諸発表大会生徒派遣費補助金	3,046,490 円
体育大会等補助金	8,176,765 円
その他（自動車借上料、賞状印刷代）	173,224 円

効果

諸発表・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

[担当：指導課] P.390

3001 中学校スポーツエキスパート活用事業に要する経費 1,072,500 円
[国・県 357,500 円 一財 715,000 円] (577,500 円)

* 特財内訳

[県補：スポーツエキスパート活用事業費補助金 357,500 円]

目的

運動部活動において、外部から専門的技術指導者を招き、より充実した部活動を行い、たくましい心と体を持った生徒を育成する。

内容

運動部活動における外部指導者の活用

- (1) 1 運動部につき、年間 27 回の活用
- (2) 1 回の指導時間は 2 時間程度
- (3) 年間を通じて継続的に実施

効果

6 校 13 人の外部指導者を活用したことにより、運動部活動の運営がより活性化し、生徒の技術の向上および心身の育成に大きな成果があった。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育施設課] P.392

2001 中学校施設整備に要する経費 65,429,366 円 (59,364,149 円)
14,857,500 円 は、うち 17 年度繰越分

[国・県 17,152,000 円 4,952,000 円 地方債 18,300,000 円 9,900,000 円

その他 10,000,000 円 一財 19,977,366 円]

* 特財内訳

[国補：公立学校施設整備費補助金 14,857,000 × 1/3 4,952,000 円]

[国補：合併市町村補助金 12,200,000 円]

[市債：戸頭中学校校舎石綿対策事業債

(14,857,500 - 4,952,000) × 100% 9,900,000 円]

[市債：中学校整備事業債 11,214,000 × 75% 8,400,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 10,000,000 円]

目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

内容

(1)委託料

(単位:円)

委託名	内 容	工 期	委託料
中学校耐震診断調査 業務委託	戸頭中耐震診断調査(校舎・体育館)	H18.7.8 ~	6,615,000
	藤代中耐震診断調査(技術棟・体育館)	H19.2.28	5,617,500
取手二中公共下水道 接続工事実施設計 業務委託	公共下水道接続工事の実施設計	H18.7.8 ~ H18.10.5	619,500

(2)工事請負費

(単位:円)

工 事 名	工事内容	工 期	工事費
中学校トイレ改修工事	男子トイレ小便器改修(戸頭中)	/	105,945
	体育館男・女トイレ換気扇改修(藤代南中)		38,430
	男子トイレ小便器バルブ改修(取手東中)		840,000
中学校ガス設備改修工事	既存埋設白ガス管の老朽化に伴い、ポリエチレン管へ敷設替工事(取手一中)	H18.7.13 ~ H18.9.15	6,730,500
中学校消防設備改修工事	非常放送設備改修(永山中)	/	913,500
	屋内消火栓電源改修(戸頭中)		78,750
藤代南中空調設備改修工事	空調機設置(職員室 2 台・保健室 1 台)	H18.5.13 ~ H18.6.20	4,483,500
取手二中公共下水道接続工事	公共下水道接続工事及び浄化槽 1 基・機械室内機械の撤去解体工事	H18.12.13 ~ H19.3.15	12,558,000
永山中バックネット改修工事	塗装及びネット張替	H18.9.13 ~ H18.10.31	1,249,500
野々井中コモンホール床・壁改修工事	コモンホール(1 階~3 階)の床及び壁の改修	H18.7.8 ~ H18.9.15	2,047,500
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事	/	8,189,409
戸頭中校舎階段裏・階段室石綿除去工事	校舎階段裏及び階段室の石綿除去 487 m ²	H18.6.7 ~ H18.9.15	14,857,500

効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育施設課] P.392

2101 中学校建設事業に要する経費 1,045,342,716 円 (21,077,768 円)

476,595,000 円 は、うち 17 年度繰越分

[国・県 377,520,000 円 174,948,000 円 地方債 618,100,000 円 270,400,000 円
一財 49,722,716 円]

* 特財内訳

[国補：公立学校施設整備費補助金

藤代中

地震補強 131,086,000 × 1/2 = 65,543,000 円

大規模改造(老朽) 224,014,000 × 1/3 74,671,000 円

大規模改造(トイレ) 49,688,000 × 1/3 16,562,000 円

大規模改造(障害) 54,516,000 × 1/3 = 18,172,000 円
 取手二中
 地震補強 123,139,000 × 1/2 61,569,000 円
 大規模改造(老朽) 248,544,000 × 1/3 = 82,848,000 円
 大規模改造(トイレ) 126,022,000 × 1/3 42,007,000 円
 大規模改造(障害) 48,446,000 × 1/3 16,148,000 円]

[市債：藤代中学校大規模改造事業債

(427,368,000 - 156,877,000) × 100% 270,400,000 円]

[市債：合併特例債

(568,575,000 - 202,572,000) × 95% 347,700,000 円]

目的

藤代中・取手二中の校舎耐震補強工事及び大規模改造工事を行い、耐震性の確保と教育環境の整備を図る。

内容

(1)委託料

(単位：円)

委託名	内容	工期	委託料
取手二中屋体改築 工事設計単価見直し 委託	17年度に実施した設計内容の見直し 及び単価の入れ替え	H18.10.26 ～H19.1.31	152,250
取手二中大規模 改造工事監理委託	大規模改造工事の工事監理業務	H18.6.17～ H19.3.26	13,125,000
藤代中校舎大規模 改造工事監理委託	大規模改造工事の工事監理業務	H18.6.17～ H19.3.26	11,445,000

(2)工事請負費

(単位：円)

委託名	内容	工期	工事費
取手二中大規模改造 工事	耐震補強(ブレース補強 20 箇所・柱補 強 1 箇所・壁補強 7 箇所) 屋根防水・外壁塗装・エレベーター棟 新設・内装(天井・床壁等)トイレ工事 等	H18.6.17～ H19.3.15	555,450,000
藤代中大規模 改造工事	耐震補強(ブレース補強 24 箇所・柱補 強 3 箇所) 外壁塗装・エレベーター棟新設・内装 (天井・床・壁等)トイレ工事等	H18.6.17～ H19.3.15	465,150,000

効果

藤代中・取手二中の校舎耐震補強工事及び大規模改造工事により、耐震性が向上し、施設の安全性の確保と教育環境整備が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.394

2001 給食運営に要する経費 160,127,612 円 (150,415,949 円)

[その他 101,544,212 円 一財 58,583,400 円]

* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代(自校分) 101,544,212 円]

目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

内容

- (1)学校給食調理業務を民間の専門業者へ4校(取手一中、取手二中、戸頭中、永山中)委託した。
- (2)臨時調理師賃金 2人
- (3)給食室内の衛生面を考慮し、換気扇及び給食排水槽の清掃委託等を実施した。

効果

栄養のバランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図られた。

[担当：保健給食課] P.396

2101 給食施設整備に要する経費 6,020,406円(6,044,785円)

[一財 6,020,406円]

目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

内容

備品整備

- ・フライヤー(戸頭中、永山中) 701,400円
- ・牛乳保冷库(藤代中) 672,000円

施設整備

- ・給食室換気扇(戸頭中) 1,942,500円
- ・給食室手洗器(取手東中) 438,900円
- ・給食室小荷物専用昇降機(藤代中) 934,500円

効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務課] P.398

2001 幼稚園管理に要する経費 3,043,702円(2,727,900円)

[その他 3,041,694円 一財 2,008円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 96,000円]

[使用料：市立幼稚園保育料 2,937,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,694円]

目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：保健給食課] P.400

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 660,483 円 (0 円)

[その他 6,075 円 一財 654,408 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135 × 45 人 = 6,075 円]

目的

学校保健法に基づき、園児及び教職員の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

内容

- ・ 幼稚園嘱託医・歯科医・薬剤師 3 人
- ・ 園児・教職員健康診断委託

委託先：(社)取手市医師会

(単位：人)

区分	尿	蛭虫	貧血	心臓	生化学検査
対象	全園児職員	全園児	職員	職員	職員
H18	50	45	6	5	6
H17	59	58	0	0	0

効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務課] P.402

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 78,383,549 円 (74,472,500 円)

[国・県 21,166,000 円 一財 57,217,549 円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金

補助対象経費 78,383,549 × 1/3 以内 21,166,000 円]

目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

内容

(単位：人)

区分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
市民税非課税世帯		20	33	26	79
市民税所得非課税世帯		10	15	13	38
所得割課税 18,600 円以下	6	38	56	30	130
所得割課税 135,000 円以下	23	240	264	301	828
計	29	308	368	370	1,075

効果

園児の保護者に対し、補助金を交付することにより幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 42,790,000 円 (43,445,500 円)

[国・県 11,000,000 円 一財 31,790,000 円]

* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 11,000,000 円]

目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
月額2,500円	46人	410人	503人	513人	1,472人

補助額 42,715,000 円

効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 3,300,000 円 (3,300,000 円)

[一財 3,300,000 円]

目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

1園につき 300,000円×11園

効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2004 幼稚園障害児保育補助関係経費 1,320,000 円 (660,000 円)

[一財 1,320,000 円]

目的

障害児保育の振興を図る。

内容

障害児を在園させている幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

障害児1人につき 年額 110,000円×12人分

効果

幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、障害児保育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 360,984 円 (390,001 円)

[一財 360,984 円]

目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

実施園 7 園 @730 円 × 989h × 1/2 360,984 円

効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 179,820 円 (182,520 円)

[一財 179,820 円]

目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の 1/2 の額を補助する。

私立幼稚園 @135 × 1,332 人 = 179,820 円

効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.406

2001 成人祭に要する経費 2,594,000 円 (2,690,000 円)

[一財 2,594,000 円]

目的

成人に達した若者の新たなる門出を祝す。

内容

平成 18 年度成人に達する市内各中学校の卒業生から 1 校あたり 7 名程度の代表者を中学校に推薦依頼、成人式の企画運営を行うために実行委員会を結成し、事業を委託した。

効果

成人祭実行委員会では、成人対象者へのアンケートを実施しながら議論を交わし、式典の綿密な計画を練ることができた。また、記念品の選定、記念冊子の編集作業や、成人祭当日のアトラクションを決定した。

成人式の在り方を含め関係者の意見を参考にし、より良い式典が円滑に行われるよう工夫することができた。

年 度	性 別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H18 (H19.1.7 実施)	男	648	465	71.7
	女	612	465	75.9
	計	1,260	930	73.8
H17 (H18.1.8 実施)	男	635	492	77.4
	女	685	526	76.7
	計	1,320	1,018	77.1

[担当：スポーツ生涯学習課] P.406

2101 生涯学習フェスティバルに要する経費 518,513 円 (35,065 円)

[一財 518,513 円]

目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

内容

平成 18 年度「全国生涯フェスティバル」茨城県開催にともない、取手市民によるアートのまちづくり等を紹介した。また、藤代スポーツセンターを会場に「とりで生涯学習フェスティバル」をネットワークフェア 2006 と同時開催で実施した。

<とりで生涯学習フェスティバル>

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦。 牛乳パックのペン立てづくり	約 100 人
歌声喫茶“灯”	なつかしい曲をギター伴奏にあわせ、スタッフと来場者が一緒に歌を歌うことをたのしむ	約 200 人
昔あそびコーナー	昔の遊び(お手玉・おはじき・びーだま・ベーゴマ・あやとりなど)	約 200 人
グラウンドゴルフ	年齢性別を問わず、いつでも、どこでも、誰でも出来るグラウンドゴルフ体験	約 150 人
取手市地域女性団体連絡会	会の活動の様子をパネルなどによる展示とバザーを開催	約 150 人

<全国生涯学習フェスティバルまなびピアいばらき>

開催日：10月5日(木)～9日(月)

会場：県民文化センター、笠松運動公園他

来場者数：201,000 人(笠松運動公園)

効果

とりで生涯学習フェスティバルでは、学習活動を実践している団体やサークルなどによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代において交流と学びの場を提供することにより、市民の生涯学習の啓発を図ることができた。また、全国生涯学習フェスティバルまなびピアいばらきでは、生涯学習見本市に「アートのまちづくり取手市」をテーマに、市民によるアートのまちづくりをビデオやパネルなどで紹介し、訪れた多くの来場者に対して、取手市をPRすることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.408

2201 生涯学習推進に要する経費 2,856,982 円 (2,465,027 円)

[一財 2,856,982 円]

目的

市民一人ひとりが充実した生活を送れるよう、市民のニーズを幅広く反映させるとともに、各分野にわたる学習機会と情報を提供し、市民がいつでも・どこでも・楽しく学習できるような環境整備を図る。

内容

(1)生涯学習情報紙の発行

生涯学習関連情報の提供に資するため、生涯学習情報紙「とりで学遊プラザニュース」を年1回発行。〔10月1日発行47,000部〕

(2)地域サークル事業

学校完全週5日制対応事業の一環として、親子参加型の各種体験講座を実施した。また、リーダーバンク登録者等、地域の人材や、地域の自然を活用した事業を展開した。

(3)出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」内容を、人材登録されているリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H18		H17	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編(登録指導者)	30	1,532人	45	2,250人
行政編(職員等派遣)	79	2,405人	82	3,041人

(4)農業ふれあい体験事業

委託料 220,000 円 (取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/13(田植え) 9/9(稲刈り)	農業ふれあい公園	親子207人 (うち台東区民40人)

そばづくり体験講座

そばの種まき、収穫、そば打ちまでの一連の流れを体験した。

事業名	実施日	場所	参加者
そばづくり体験講座	8/19(種まき)	吉田地先 河川敷内	15人
	11/12(収穫)		15人
	12/16(そば打ち)		19人

(5)家庭教育学級

市立幼・小中学校在籍の親を対象に家庭教育について、社会教育指導員の指導により学習会を実施した。 29学級 参加延べ人数1,208人

効果

学校完全週5日制に対応した取り組みとして、親子で自然体験の活動機会と場を提

供し学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座においては、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級は「子育てと仲間づくり」をテーマに、子供達が心豊かにたくましく成長することを願って、読書、料理、子育て講話、研修視察等バラエティーに富んだ学習会を実施できた。

[担当：文化芸術課] P.408

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,099,022 円 (5,528,138 円)

[一財 4,099,022 円]

目的

市民芸術活動、文化活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
第35回 文化祭 (取手地区)	11/3,4,5, (3日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託し、市民が日頃行っている文化的活動を集約し、技芸・展示に分けて発表した。 会場：取手市民会館 委託料：1,240,000 円	8,174 人
平成18年度 取手市藤代 文化祭	10/1～11/26	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託し、様々なイベントを開催して地域の文化芸術の推進に寄与している。 会場：藤代公民館 委託料：530,000 円	2,363 人
取手美術 作家展	6/2～6/23 (22日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。29名63点を出品。 6/3 オープニングイベント フルートコンサート、ギャラリートーク他 市内小中学校ギャラリーツアーを3日間実施。 会場：とりでアートギャラリー 委託料：640,000 円	2,096 人
夢の コンサート	11/12	児童を対象にした聴衆参加型のクラシックコンサートを開催した。 会場：取手市民会館 夢のコンサート実行委員会負担金：50,000 円	846 人
第37回 取手市 美術展	10/29～12/6 (33日間)	第1部 洋画、彫刻、デザイン 95点 第2部 日本画、写真、書、工芸 110点 第3部 小中学生、特殊学級 1,123点 会場：とりでアートギャラリー 報償費・需用費：419,022 円	4,856 人

(2) 文化振興奨励金交付

事業名	金額	開催日	人数
取手市中学生バンドフェスティバル	65,000 円	6/24	400 人

(3) 市内の文化団体への助成

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	560,000 円	文化連盟運営の助成
取手市吹奏楽団補助金	240,000 円	吹奏楽団運営の助成
少年少女合唱団補助金	80,000 円	少年少女合唱団運営の助成
取手市藤代文化協会補助金	270,000 円	文化協会事業の助成

効果

文化事業は、毎年恒例であるが大盛況であり、入場者数も年々増えている。市民の文化芸術に関する意識の向上及び活性化が図れた。

[担当：文化芸術課] P.410

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 92,134,450 円 (102,829,250 円)

[その他 5,880,000 円 一財 86,254,450 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,880,000 円]

目的

市民会館・福祉会館を設置し、市の産業、経済、文化、教養の向上と市民の福祉増進を図る。

内容

耐用年数の経過により老朽化している施設を年次計画に基づき改修を行い、市民会館及び福祉会館の管理運営を委託した。

・需用費（修繕料） 7,044,450 円

修繕名	概要	履行期間	金額
取手市立市民会館 吊り天井補強修繕	天井下地を構成する部材の補強並びにそれに伴う付帯工事	7/14 ~ 10/15	5,880,000 円
取手市立市民会館 吊り物装置修繕	吊り物装置制御盤部品交換、機材運搬、雑財消耗品	10/16 ~ 10/31	483,000 円
取手市立市民会館 呼水槽修繕	呼水槽交換、自立型架台設置、並びに塗装工事	1/29 ~ 2/23	240,450 円
取手市立市民会館 大ホールスピーカー修繕	大ホールスピーカー取替設置工事	2/21 ~ 3/15	441,000 円

・委託料（市民会館・福祉会館指定管理料） 85,090,000 円

平成 18 年度から市民会館・福祉会館に指定管理者制度を導入した。

指定管理者：取手市文化事業団

効果

施設の適切な管理運営を行うことにより、文化活動の拠点として、市民の文化振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.410

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 4,975,226 円 (4,691,892 円)

[国・県 2,000,000 円 一財 2,975,226 円]

* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 2,000,000 円]

目的

取手市に東京芸術大学取手キャンパスがあるという地域性を活かし、市民と芸大との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、芸術文化の振興を推進する。

内容

(1) 市内小中学校と芸大との文化交流

指導者謝礼：3,026,000 円 (東京芸術大学指導者)

市内小中学校 (26 校) と芸大との文化交流を実施し、小中学校の希望により美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：15 校 市内全 18 校中希望をした全校 (絵画等主に描写の指導)
- ・音楽：8 校 市内全中学 8 校 (吹奏楽部の演奏指導)

(2) 第 10 回炎の祭りの開催

委託料：560,000 円 (炎の祭り実行委員会)

取手キャンパスの登り窯を利用し、参加者 24 人が芸大陶芸科の指導のもと粘土制作、絵付け、登り窯での本焼きと一連の作業を行った。あわせて島田文雄教授による講演会を実施。1 人 3、4 点を制作した。実施にあたっては、実行委員会を組織し、芸大、取手市及び実行委員会の三者共催とし取手市から実行委員会に対して委託した。

- ・日程：11/3 粘土制作、11/11 講演会、11/20 絵付け、11/23 焼成体験、11/27 窯出し
- ・場所：東京芸術大学取手キャンパス

(3) 東京芸術大学卒業制作展市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (受賞者 2 名)

第 55 回東京芸術大学卒業制作展において優秀作品 2 点 (日本画、工芸) に市長賞を授与した。日本画は野堀佳代子作「春を呼ぶ」、工芸 (陶芸) は藤笠砂都子作「風」に決定した。

- ・展示場所：福祉会館ロビー、福祉交流センター

(4) 東京芸術大学音楽学部ミニコンサート

出演者謝礼：144,000 円 (雅楽出演者 4 名、木管五重奏出演者 5 名)

開催日	会場	内容	入場者数
9/16 (土)	福祉交流センター	雅楽 (宮廷音楽)	110 人
12/2 (土)	戸頭公民館	木管五重奏	130 人

効果

小中学校との文化交流では、希望校全校に芸大生を派遣することができた。炎の祭りにおいては、リピーターも存在し、事業が定着してきている。また、ミニコンサートでは、高齢者の観客が多く見られ、観客の好評を得られた。

[担当：文化芸術課] P.412

3301 文化のまちづくりの推進に要する経費 7,962,535 円 (13,041,580 円)

[国・県 4,000,000 円 その他 3,148,000 円 一財 814,535 円]

* 特財内訳

[県交：合併特例交付金 4,000,000 円]

[諸収入：地域の芸術文化環境づくり支援事業助成金 $3,000,000 \times 2/3 = 2,000,000$ 円]

[諸収入：大学と連携した地域づくり事業助成金 $1,700,000 \times 2/3 = 1,133,000$ 円]

[繰入金：取手ふるさと創生基金繰入金 15,000 円]

目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行うとともに、東京芸大キャンパスが取手市内にあるという地理的環境を活かし、他市町村にはない、芸大のノウハウを駆使した、文化によるまちづくりの推進を図る。

(1) 壁画によるまちづくり

内容

委託料：1,700,000 円 (壁画によるまちづくり実行委員会)

平成 12 年度より、いたずら書きや貼り紙の防止を主な目的として、地元小学生や、取手アートプロジェクト参加者、芸大学生などにより壁画制作を行ってきた。市民には大変好評であり、壁画が環境改善や防犯に大きな役割を果たしている。取手市は芸術あふれるまちづくりを目指していることもあり、平成 17 年度に芸大、市民、行政による壁画によるまちづくり実行委員会を立ち上げ、基本計画及び実施計画を策定し、毎年一作品を制作することとした。今年度は、関東鉄道西取手駅前壁面に、一日の生活をコンセプトとした「ライフ」を制作した。

概 要	期 間
足場組み・ボランティア説明会	8/5
壁面洗浄	8/7
シーラー塗装	8/8
下塗り・下描き	8/9～8/10
本描き	8/11～8/24
仕上げ	8/28

参加延べ人数：約 230 人

効果

壁画を制作することによって、落書き、不法ビラ等の犯罪をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、美術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。また、市民の芸術活動を支援し、文化レベルの向上を図りながら、人的交流を促し健康な生活と環境が整うとともに、若い芸術家の育成に寄与した。

(2) 取手アートプロジェクト 2006

内容

補助金：6,000,000 円 (取手アートプロジェクト実行委員会)

8年目を迎えた取手アートプロジェクト (TAP) は、地元商店街や地元住民の方々の協力のもと、全国から現代アート作品のアイデアを募集し、選ばれた作品を市内で公開するという全国公募展 (21組の作家による35の作品) を開催した。旧取手宿本陣と現代アートのコラボレーション、利根川河川敷では大きなバルーンの先に取り付けたマイク

を使い巨人になった自分を体験する作品、福祉会館全館を利用した作品展示やパフォーマンス等を催し、市民と共に開催した良い形でのイベントとなった。他にも、毎年好評を得ている市内小学校1年生の全作品を優劣つけず展示する「児童画展」やTAPフォーラムなども実施した。また、これまでの活動を評価され、国土交通省で毎年表彰を行っている地域づくり国土交通大臣賞を受賞した。

概 要	期 間
アーティストの学校派遣	9月～11月
「仕掛けられた終末処理場」	11/11～11/26 の金土日祝日
あーだ・こーだ・けーだパーティー (公立文化施設の利活用の活性化等助成事業)	11/19
本陣の一日「仕掛けられた日常」	11/11～11/26 の金土日祝日
宮ノ前ふれあい公園「GARDEN miyanomae」	11/11～11/26 の金土日祝日
ふうせんサウンドプロジェクト「巨人の耳」	11/11～11/26 の金土日祝日
児童画展 910人のいちねんせい「なんのおと?どんなおと?」	11/11～11/26
TAP サテライトギャラリーVol.14	11/11～11/26 の金土日祝日
TAP フォーラム TAP 塾研究発表会「検証」	2007/3/11
TAP 塾	通年

参加者総数：延べ約 12,000 人。

効果

平成 18 年度の TAP は今までで最大規模の事業となり、地元商店街や地元住民の参加も増え、市民参加による文化のまちづくりが推進された。また、国土交通大臣賞受賞等、今までの活動が認められ、全国的に注目度も上がり、取手市を全国発信することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.412

3501 IT基礎技術講習会に要する経費 462,479 円 (529,259 円)

[一財 462,479 円]

目的

インターネットや電子メールなどの基礎技術の習得に役立つ基礎技能講習会を実施することで、市民の日常生活における IT 技能の習得を図る。

内容

(1) 公民館を利用し、IT講習会を実施。「パソコン入門」「ワード入門」「エクセル入門」「ホームページ入門」「6ヶ月入門」の5種類の講座を行い、市民のIT基礎技能の習得を図った。

年度	対象者	応募者数	受講者数	講座数
H18	一般成人(20歳以上)	540人	273人	16回
H17		465人	309人	20回

(2)障害者とのパソコン教室

NPOたんぼぼ・NPOスマイルクラブの共催により、障害者と交流しながらのIT基礎技能講習を行った。

実施時期：10月～12月（うち5日間） 場所：白山公民館・小文間公民館

効果

年間18講座、受講者273人にIT講習を実施し、市民のIT学習を支援することができた。応募状況は、大半の講座で定員を超えており、また、受講者アンケートからもITへの市民の関心と意欲は非常に高いものがあった。

[担当：文化芸術課] P.412

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 7,861,552円（9,981,195円）

[その他 127,000円 一財 7,734,552円]

* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 127,000円]

目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術文化の作品発表の場として、さらには芸術文化交流の場として幅広い活動を展開する。

内容

(1)市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
取手市所蔵作品展 桂林市からの贈り物	4/1～4/30	友好都市である桂林市の訪問団から平成7年に寄贈された作品を展示	445人
鈴木草牛 素描画展	5/3～5/28	取手市を含めた県南において活躍された、鈴木草牛の素描画を展示	432人
取手市所蔵絵画展	7/21～8/9	市が所蔵する絵画22点を展示	443人
TORIDE Collection 2006夏	8/12～9/3	取手市在住の6名の作家による作品展 ワークショップを開催	793人
平山郁夫佛画展	9/15～10/3	図書館所蔵の佛画集より20点を展示	426人
TORIDE Collection 2006冬	12/8～12/19	東京芸大卒業生など新たに取手を活動の拠点とする作家を含む取手市在住の7名の作家の作品を紹介	475人
県展入選・市展入賞 作品展	12/21～1/8	県芸術祭に入選及び市展に入賞された市民の作品展	536人
グラフィカ写真展	1/10～1/17	郷土茨城をテーマに追求してきた写真家集団グラフィカの写真展	288人
小中学校児童生徒 作品展	1/20～2/6	市内小中学生による絵画、書写、理科、統計(県展入選作品も含む)の優秀作品展	2,075人
ORIDE Collection 2007春	3/9～3/21	長く取手市で活躍する6名の作家の作品展	608人

(2)アートギャラリー貸出実績

期間	展示名
6/27～7/9	タテカンアート展
7/14～7/18	オリジナルガラス工芸品展

9/9～9/13	「下水道の日」普及促進展 06
10/6～10/11	つつじ園創立及びさをり織 20 年記念作品展
10/14～10/25	防火ポスターコンクール展
1/10～1/17	国土交通省・川の写真コンクール展
2/14～2/21	取手陶芸クラブ作陶展
2/24～3/1	絵を描く仲間たち展
3/4～3/7	聖和会書道展

効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、芸術・文化の振興に寄与できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.414

3901 放課後居場所づくり事業に要する経費 8,100,395 円 (0 円)

[国・県 1,130,000 円 その他 1,282,000 円 一財 5,688,395 円]

* 特財内訳

[県補：放課後居場所づくり事業補助金 @ 1,130,000 × 2 クラブ × 1/2 = 1,130,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,282,000 円]

目的

設置校の小学 1 年生から 6 年生を対象に、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

内容

平成 18 年 7 月よりモデル校として稲小・六郷小の 2 校で実施し、放課後や長期休業中等に子ども達の活動や交流の場を用意し、健全育成を図るもので、平成 20 年度までには、市内全校で実施の予定である。

居場所づくり入所児童数

平成 18 年 7 月 24 日現在 (単位：人)

小学校名	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
稲小	5	6	3	0	9	4	27
六郷小	9	3	3	4	1	0	20
計	14	9	6	4	10	4	47

効果

児童の健全育成のために貢献する事ができた。また、学年の拡大を図った事で異学年の交流を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.414

4001 児童クラブに要する経費 64,524,556 円 (64,629,877 円)

[国・県 15,796,000 円 一財 48,728,556 円]

* 特財内訳

[県補：放課後児童対策事業補助金 @ 1,611,000 × 14 クラブ × 2/3 = 15,036,000 円

@ 760,000 × 2 クラブ × 1/2 = 760,000 円]

(1) 児童クラブ事業

目的

保護者の就労等の理由により留守家庭となる小学 1 年生から 3 年生までの児童を対

象に、学校施設等を活用し、児童の健全育成を図る。

内容

市内各小学校に児童クラブを設置し、遊びを主とした活動をとおして児童の健全育成を図った。今後3ヵ年計画で児童クラブから居場所づくりへと拡充し、子育て環境の整備をすすめる予定である。

児童クラブ入所児童数 平成18年4月1日現在(単位:人)

小学校名	1年生	2年生	3年生	計
取手小	19	14	9	42
白山小	20	8	17	45
寺原小	19	16	9	44
永山小	14	6	12	32
井野小	20	16	15	51
白山西小	2	5	11	18
戸頭西小	13	17	12	42
吉田小	16	14	3	33
戸頭東小	8	21	4	33
稲小	16	7	12	35
小文間小	3	2	1	6
高井小	5	1	3	9
山王小	14	8	12	34
六郷小	17	9	5	31
藤代小	17	17	10	44
宮和田小	13	16	9	38
久賀小	4	6	5	15
桜が丘小	14	7	3	24
計	234	190	152	576

効果

保護者の雇用継続(自宅外勤務)及び児童の健全育成に寄与した。

(2)サマーサポート事業

目的

児童クラブに在籍していない小学1年生から6年生までの留守家庭児童を対象として、夏季休業中に限り学校施設等を活用し、遊びを主とした活動の中で児童の健全育成を図る。

内容

居場所づくりの稲小・六郷小を除く市内小学校16校に設置。長期休業中に保護者の就労等の理由により、昼間留守家庭になる児童の保護育成のため、各小学校に指導員を配置し、遊びを主とした様々な活動をとおして児童の保護育成を図った。

サマーサポート利用児童数 (単位:人)

学校名	取手小	白山小	小文間小	寺原小	永山小	井野小	白山西小	戸頭西小
児童数	40	36	5	32	19	36	9	20

吉田小	戸頭東小	高井小	山王小	藤代小	宮和田小	久賀小	桜が丘小	合計
14	31	4	7	9	17	10	12	301

効果

保護者の雇用継続（自宅外勤務）及び児童の健全育成に寄与した。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P.416

0501 公民館事務に要する経費 68,826,084 円（64,417,882 円）

[その他 8,297,465 円 一財 60,528,619 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 7,792,000 円]

[諸収入：コピー使用料 483,395 円]

[諸収入：ファクシミリ使用料 350 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 10,500 円]

[諸収入：電話通話料 11,220 円]

目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

内容

主な工事等

- ・藤代公民館 P A S 設置工事 1,060,500 円
- ・久賀公民館空調機修繕 3,630,900 円

効果

工事、修繕を実施したことで、利用者の利便性・安全性が向上した。

[担当：公民館] P.420

2101 公民館活動に要する経費 2,317,564 円（2,997,646 円）

[一財 2,317,564 円]

目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として、重要な役割を果たす。

内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数	事業内容及び結果
青少年	サマースクール	7～8月	21	667	子供クッキング、トールペイント、子供平和映画会、レザークラフト、しぼり染め、七宝焼き等を実施した。

	こどもふれあい スクール事業他	7~2月	15	532	和太鼓、勾玉作り、ミニ門松作り、クリスマスリース作り、クリスマス人形劇、昔の遊び、子ども空手教室等を実施した。
婦 人	婦 人 学 級	年間	1学級 12~14回	1学級 21人~53人 8学級(292人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
	婦人学級全体会	1月	1	250	講演会「心豊かな活動で、生き生きはつらつ楽しい毎日」
高 齢 者	高 齢 者 学 級	年間	1学級 12回	1学級につき 24人~111人 3学級(169人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的にを行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤 代 学 園	年間	11回	124	学習、趣味クラブの活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
成 人	取 手 生 活 学 校	4~3月	11	23	移動学習等を通じ、主体的に活動した。
	楽しい七宝焼き	6月 2館	2	23	ブローチやペンダント、キーホルダーを作った。
	みんなで歌おう	6~8月	3	110	懐かしい童謡や季節の歌などをみんなで歌い、楽しい時間をすごした。
	ふるさと講座	4~10月	6	180	郷土に関することの学習を通じ、郷土愛と交流を深めた。
	防 犯 対 策	7/4 9/26 2館	2	29	防犯対策の心得についての講義や、空き巣対策、簡単な護身術を学んだ。
	男の料理・入門編	7/8 7/22	2	24	男性に料理をする契機を作るお手伝いをした。
	小麦粉クッキング	6~10月	5	80	小麦粉の特性などについて学び、料理作りを行った。
	秋 の 音 楽 祭	10/28	1	72	管楽器の魅力を、素敵演奏で楽しんだ。
	クリスマスリース作	11~12月 3館	3	70	クリスマスに向けて、リース作りを開催した。
	しめ飾り講座	12月 7館	8	249	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	そば打ち	11~12月 3館	3	65	そば打ち体験で自分で打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	囲 碁 講 座	9~3月	12	60	囲碁の初心者を対象に、囲碁の楽しさを学んだ。
	リボン アートフラワー	10/21	1	15	リボンと色紙を使って、小物入れを作った。
韓 国 語	12月	4	124	簡単な会話から始めて、韓国料理などを通じて韓国語を学んだ。	

	食育講座	1/23	1	23	食育について、専門家の講義を受けながら、健康的な料理を実習試食した。
	着付け	7,12月	2	36	ゆかた、正月向け着物の着付けを学習した。
	緑を楽しむ集い	4~11月	4	43	苗の育成や増やし方、管理のノウハウを学んだ。
	公民館合同書道展	3/15~ 3/18	1	8団体	公民館で活動する書の団体が作品を展示し、交流と資質の向上を図った。
	お父さんのつどい	12/5	1	28	高須地区のお父さんの視察研修。今年度は野田春日部方面。
	お母さんのつどい	3/6	1	29	高須地区のお母さんの視察研修。今年度は鹿島行方方面。
一般	公民館まつり	2~3月 12館	1	-	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。
	ソフトバレーボール大会	6,10,12月 4館	1	-	スポーツ(ソフトバレーボール・ビーチボールバレー)の振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ビーチボールバレー大会	6月	1	-	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。
	ゲートボール大会	7,10,12月 4館	1	-	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。
	ゴルフ大会	8/23	1	85	ゴルフを通じて地区住民の親交を深めた。
	ペタンク大会	8/20	1	85	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	夏まつり盆踊り大会	8月 4館	1	-	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。小文間は小文間音頭の伝統を伝え、踊りの普及にも寄与した。
	運動会	9,10月 4館	1	-	小文間、六郷は小学校と合同で開催、市民の健康増進と地域親善を目指した。
	たこあげ大会	1/20	1	32	正月の風物詩たこあげで地域間・世代間の親睦を図った。
	菊花展	11月	1	42	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	さつき展	6月	1	50	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	クリスマスコンサート	12月	1	45	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催した。
	世代間交流	7,12月	2	30	高齢者が子ども達にしめ縄等の手工芸を教え、世代間交流を図った。

(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H18	342	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H17	343		
小文間公民館	H18	331	1,290	12,064
	H17	333	1,310	13,389
永山公民館	H18	331	1,789	23,031
	H17	332	1,687	22,287
寺原公民館	H18	331	2,099	30,204
	H17	332	1,942	29,242
井野公民館	H18	331	2,884	49,714
	H17	332	2,794	46,442
戸頭公民館	H18	331	2,750	39,913
	H17	331	2,716	40,255
白山公民館	H18	331	2,037	35,751
	H17	332	2,028	32,253
藤代公民館	H18	331	2,813	44,270
	H17	307	2,604	43,887
山王公民館	H18	331	415	5,514
	H17	289	370	5,527
六郷公民館	H18	331	1,088	14,040
	H17	280	670	8,683
相馬公民館	H18	331	1,537	18,519
	H17	292	1,161	14,905
相馬南公民館	H18	331	820	11,394
	H17	289	1,554	19,259
高須公民館	H18	331	308	3,634
	H17	288	220	2,598
久賀公民館	H18	331	907	12,891
	H17	288	988	14,678
計	H18		20,737	300,939
	H17		20,044	293,405

効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館でまちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.422

2001 図書館管理運営に要する経費 24,258,595 円 (25,055,439 円)

[その他 900,000 円 一財 23,358,595 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 900,000 円]

目的

市民の図書館として、安全で快適な環境を提供し、適切な施設の維持管理を図る。

内容

施設の管理運営上必要な維持管理を行った。

効果

施設の維持修繕等を行うことにより、市民に快適な図書館環境の提供が図れた。

[担当：図書館] P.422

2101 図書館活動に要する経費 51,098,665 円 (84,211,642 円)

[その他 265,173 円 一財 50,833,492 円]

* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 190,310 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 74,863 円]

目的

市民の多様化するニーズに応えるよう、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努める。

内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業 (1,100,440 円)
 幼児・児童向け読み聞かせ (お話会)
- ・学校との連携 学校図書館への支援
 学校向け団体用図書の充実と貸出方法の改善
- ・図書館だより ライブラリープラス・ふじだな・本バナ発行
- ・その他行事開催 検索機OPAC講習会開催
- ・ネットワーク 返却ポイントの拡大

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6	7～12	13～ 15	16～ 18	19～ 22	23～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～	合計
H18	542	3,324	2,362	2,511	3,614	6,610	9,157	5,835	6,476	9,147	49,578
H17	540	3,233	2,254	2,439	3,570	6,366	8,312	5,409	6,290	8,084	46,497

(3) 利用状況

・入館者数・館別貸出者数・貸出冊数

館名	入館者数 (単位：人)		貸出者数 (単位：人)		貸出冊数 (単位：冊)	
	H18	H17	H18	H17	H18	H17
取手図書館	192,830	197,483	83,699	86,109	303,076	313,716
ふじしろ図書館	175,578	167,385	72,134	63,002	213,581	195,867
戸頭公民館図書室			40,679	41,115	133,143	133,446
小文間公民館図書室			303	378	755	869
寺原公民館図書室			2,316	2,193	5,647	5,641
永山公民館図書室			369	249	983	701
ゆうあい ^ろ ザ ^ろ 図書室			2,882	3,095	8,275	8,907
井野公民館			725	307	1,630	645
取手駅前窓口			2,005	1,173	3,908	2,171
合計	368,408	364,868	205,112	197,621	670,998	661,963

・予約（リクエスト）月別利用状況

月 別	予約（リクエスト）件数（件）	
	H18	H17
4月	6,967	4,620
5月	7,478	5,213
6月	5,718	4,804
7月	7,283	7,269
8月	7,024	6,126
9月	7,075	6,407
10月	7,406	5,748
11月	6,913	6,210
12月	6,843	6,035
1月	6,735	6,778
2月	6,997	6,925
3月	7,236	7,153
合 計	83,675	73,288

効果

サービスポイントの拡大により利便性を高め、幅広い層に利用しやすい図書館運営を図った。また、ブックスタート事業を実施し、乳児と本との出会いの場を創出するとともに、子育て支援に貢献した。

[担当：図書館] P.424

2201 図書購入に要する経費 32,476,400円（32,510,896円）

[その他 135,324円 一財 32,341,076円]

* 特財内訳

[諸収入：図書弁償代 135,324円]

目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

蔵書冊数には寄贈本を含む。

館 名	図書（単位：冊）		雑誌（単位：種類）		A V（単位：件）	
	H18	H17	H18	H17	H18	H17
取手図書館	131,659	133,614	73	74		
ふじしろ図書館	91,117	82,380	118	115	3,101	2,711
戸頭公民館図書室	61,920	60,518	31	29		
小文間公民館図書室	2,275	2,564				
寺原公民館図書室	5,554	5,418				
永山公民館図書室	4,826	4,763				
ゆうあいプラザ図書室	12,144	11,412				
合 計	309,495	300,669	222	218	3,101	2,711

効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：文化芸術課] P.426

2001 文化財保護に要する経費 17,116,428 円 (1,954,908 円)

[一財 17,116,428 円]

目的

文化財は住民の共有の財産であり、地域がどのような歴史を歩んできたか、後世に永く伝えていく必要がある。また、文化財を保護し活用することによって、住民が郷土史をより深く身近に理解することができる。市内にある国・県・市指定文化財の保存・活用を進め、その他、未指定の文化財についても調査を進める。

内容

(1) 指定文化財補助金交付 (16,618,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位：円)

指定	指定文化財の名称	日常管理 補助金(円)	防災設備保守点 検補助金(円)	その他 (円)
	補助率	定額	7/8 以内	1/2 以内
国	龍禅寺 三仏堂	10,000	60,000	860,000 [保存修理(茅屋根修理)]
県	本多作左衛門重次墳墓 (本願寺)	10,000		
県	大日山古墳	10,000		
県	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		
県	長禅寺 三世堂	10,000	30,000	10,000 [文化財防火デー(定額)]
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	50,000	
市	東漸寺 山門・観音堂	10,000		11,055,000 [保存修理(観音堂解体)]
市	白山神社 本殿	10,000		4,372,000 [維持管理(覆屋建替)]
市	中妻貝塚(福永寺)	10,000		81,000 [維持管理(草刈)]
市	金仙寺 阿弥陀如来座像	10,000		

(2) 指定文化財保存修理に伴う意見書作成

意見書作成謝礼：30,000 円

市指定文化財である東漸寺山門・観音堂の保存修理に伴う現状変更許可申請の審議に際し、茨城県文化財保護審議委員に現地調査並びに意見書の作成を依頼した。

(3) 市指定文化財の説明板設置

説明板設置委託料：409,500 円

指定文化財にまつわる由来や価値を知ってもらい、文化財に対する理解や保護意識の高揚を図り、指定文化財を訪れた方々への情報提供のための説明板を設置した。

説明板設置文化財	形 式	備 考
地蔵ケヤキ（高源寺）	高札型説明板	老朽化による立て替え
木造阿弥陀如来座像（金仙寺）	高札型説明板	新規指定による新設

(4) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

旧取手宿本陣（11月1日～11月7日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
11/1～11/7	特別公開	622人	
11/3～11/5	掛け軸公開	551人	本陣・染野家に送られた水戸藩主直筆掛け軸の特別公開
11/3（祝）	講演会	100人	「俳人・高野素十を語る」 講師：前野茂氏 （市文化財保護審議会委員） 定員：50名
合 計		722人	

長禅寺三世堂（11月3日～11月5日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
11/3～11/5	内部特別公開	586人	

(5) 文化財防火デー（1月26日）に伴う防火訓練

発炎筒等消耗品費、記録用写真印刷製本費：58,928円

文化財への愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の中の建造物所有者に協力してもらい、毎年持ち回りで総合防火訓練を実施している。

実施日	実施文化財	参加者数	協 力 者	備 考
1/26	長 禅 寺 三 世 堂	30名	地元消防団 地元住民 文化財保護審議委員	取手消防署と共催

効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することによって、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民への文化財への理解と保護意識の高揚に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.426

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 9,480,268円(10,060,402円)

[その他 240,000円 一財 9,240,268円]

* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000円]

目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高めるものである。

内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H18	週3日 (金・土・日)	159日	7,228人	45.5人	<ul style="list-style-type: none"> ・修復工事のビデオを随時放送。 ・展示ケース2つに本陣に関する資料を展示。資料は3ヶ月ごとに変える。 ・団体が希望があれば職員が説明を行う。
H17	〃	157日	4,594人	29.2人	〃

(2) 管理・運営経費

- ・一般公開に関する経費：1,482,103円

内 訳	支 出 額
賃金（公開日の管理・清掃）	1,454,585円
消耗品費（パンフレット用紙等）	27,518円

- ・維持管理に関する経費：7,998,165円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	5,917,259円
日常管理委託料	478,800円
庭園維持管理委託料	787,500円
防災（設備点検委託、機械警備委託）	255,150円
火災保険料	70,737円
光熱水費等	271,054円
裏山四つ目垣修理	168,000円
東堀修理	6,195円
消火器詰め替え	43,470円

効果

旧取手宿本陣の常時公開は、市内文化財愛護・保護意識の向上のための拠点となっている。また、見学者の6割強が市外からの見学者であり、市内だけでなく地域の文化財のシンボリック的存在となっている。

[担当：文化芸術課] P.430

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 7,309,370円（6,419,333円）

[国・県 4,000,000円 その他 513,430円 一財 2,795,940円]

* 特財内訳

[国補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 6,000,000×1/2以内=3,000,000円]

[県補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 (6,000,000 - 国補3,000,000)×1/3以内=1,000,000円]

[負担金：発掘調査原因者負担金 452,930×1件=452,930円]

[諸収入：郷土史売却代 60,500円]

目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領によって埋蔵文化財保護の体制を整備・強化し、土木

工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。

内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要(国・県補助事業)

確認調査(試掘)や個人住宅の発掘調査については、国・県から補助金を受け、市が調査を実施する。(事業経費:6,798,036円)

遺跡名・事由・面積	期 間	人員数・経費	内 容
佃遺跡 個人住宅・289.11 m ²	5/2	職員対応	遺構・遺物なし 補助対象外
大渡遺跡 埋立造成・38759 m ²	6/6・7	職員対応	遺構・遺物なし 補助対象外
神明遺跡 個人住宅・371.45 m ²	6/13・14	職員対応	奈良・平安時代住居跡 遺物なし(盛土保存)
台宿二本松遺跡 共同住宅・148 m ²	6/22～6/27	使用料 70,455 円	縄文炉跡・古墳時代住居跡 縄文土器片・土師器片出土 (現状保存)
下高井向原遺跡 店舗・134.99 m ²	7/20	職員対応	遺構・遺物なし
貝塚新田遺跡 個人住宅・842.97 m ²	8/21	職員対応	遺構・遺物なし
上高井水砂地区 宅地造成・1785 m ²	9/4・5	職員対応	縄文土器片出土
稻向原 遺跡 宅地造成・826 m ²	9/19	使用料 241,447 円	遺構・遺物なし
高井城跡 個人住宅・1192.21 m ²	10/10～26	職員対応	土塁・堀跡,内耳土器片・ すり鉢片出土
糠塚古墳群 個人住宅・166.3 m ²	11/7	職員対応	遺構・遺物なし
大鹿城跡 通信用鉄塔・4 m ²	11/29	職員対応	遺構・遺物なし
姫宮神社遺跡 防災無線・1 m ²	12/1	職員対応	遺構・遺物なし
佃遺跡 防災無線・1 m ²	12/4	職員対応	遺構・遺物なし
台宿貝塚 防災無線・1 m ²	12/5	職員対応	遺構・遺物なし
大鹿城跡 防災無線・1 m ²	12/7	職員対応	遺構・遺物なし
高井城跡 防災無線・1 m ²	12/11	職員対応	遺構・遺物なし
新屋敷遺跡 個人住宅・317.24 m ²	12/6～12	職員対応	遺構・遺物なし
佃遺跡 個人住宅・331 m ²	H19.1/10～11	職員対応	遺構・遺物なし
惣代八幡遺跡 個人住宅・315.32 m ²	1/10～11	職員対応	遺物包含層 縄文土器片出 土(盛土保存)

稲向原 遺跡 宅地造成・909 m ²	1/12	職員対応	遺構・遺物なし
台宿2丁目地区 共同住宅・730.76 m ²	2/20	使用料 22,050 円	遺構・遺物なし
神明遺跡 個人農業・1704 m ²	H18.7/25 ~ H19.3.31	作業員 962.5 人 賃金 5,088,318 円 使用料 408,450 円	縄文住居跡・土坑, 縄文土器・石器出土
市内遺跡整理	7/1 ~ 3/30	作業員 121.5 人 賃金 534,805 円	18 年度に実施した調査の出土品整理と報告書の編集をした。
「取手市内発掘調査報告書 11」の印刷製本	3/14 ~ 3/30	需用費(印刷製本) 299,250 円	18 年度に実施した調査報告書の印刷を実施。

(2) 後原遺跡発掘調査(事業者(原因者)負担事業)

宅地造成により保存が困難である後原遺跡を記録保存するための発掘調査事業。原因者である事業者の経費負担により実施した。前年度の18年3月より実施しており、18年度は出土品や図面等の整理作業と報告書の刊行を実施した。

・発掘調査概要

事 項	概 要
調 査 実 施 区 域	取手市米ノ井字後原 33 番地ほか(1492.40 m ²)
調 査 要 因	宅地造成に伴う事前発掘調査
出 土 品 等	平安時代住居跡 3 棟, 土師器・須恵器等
整 理 作 業 期 間	平成 18 年 4 月 1 日 ~ 6 月 30 日
報 告 書 印 刷 契 約 期 間	平成 19 年 3 月 14 日 ~ 3 月 30 日

・調査経費(452,930 円)

経 費 内 訳	支 出 額	内 容
整 理 作 業	364,730 円	
賃 金	(345,830 円)	作業員賃金
需 用 費	(18,900 円)	作業時消耗品
報 告 書 作 成	88,200 円	
印刷製本費	(88,200 円)	報告書印刷

効果

本年度は、15 遺跡 22 件の確認調査を行い、縄文時代の集落跡から中世の城館付帯遺構等を検出、土偶や土器など貴重な資料が多数出土した。それにより、埋蔵文化財の保護に寄与できたとともに、先史時代の資料を多数収集することができた。

[担当：文化芸術課] P.430

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 771,247 円(771,984 円)

[一財 771,247 円]

目的

文化財活用施設として、市内の貴重な文化財、歴史資料を紹介し、市民や周辺地域に埋蔵文化財行政や取手に対する理解と親しみを深める。

内容

(1) 年間来館者数

年 度	平成 18 年度	平成 17 年度
来館者数	7,836 人	4,481 人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内 容
第 18 回企画展 「伝説に生きる 平将門」	2/21～4/23 開館 54 日	4,527 人 (83.8 人) 4/1 以降は 3,618 人	報償費、印製 費は平成 17 年度予算で 対応	市内に数多くの伝説が残る平 将門を取り上げ、人々の心 の中に生き続けた将門の軌跡を たどった。 4/1 公開講座「平将門と佐倉惣 五郎」参加者 109 名 4/14～16 龍禅寺三仏堂内部 特別拝観 参拝者 1,355 名
第 19 回企画展 「Jは JOMON 縄文の J」	7/18～9/15 開館 52 日	910 人 (17.5 人)	報償費 20,000 円 印刷費 199,500 円 (ポスター、解説 図録)	市内の遺跡から近年発掘され た土器や土製品から、縄文人 のメッセージを探った。 9/9 講演会「日本考古学にお ける茨城県遺跡の役割」参加 者 78 名 8/19 ワークショップ「縄文土 器・土偶を作る」参加者 28 名
第 20 回記念企 画展 「取手ゆかり の人びと」	10/24～ 12/22 開館 52 日	1,875 人 (36.1 人)	報償費 20,000 円 印刷費 204,750 円 (ポスター、解説 図録)	郷土にゆかりのある著名人 11 名を取り上げ、業績や取手と のかかわりを紹介した。 11/4 講演会「俳人・高野素十 を語る」参加者 105 名 11/25 講演会「菊池幽芳と明 治・大正の新聞小説」参加者 42 名 10/28 公開講座「戸頭の海老原 家と頼山陽・市河米庵」参加 者 49 名 11/3～5 長禅寺三世堂内部 特別拝観 参拝者 586 名
第 21 回企画展 「2006 発掘と 発見・茨城県内 遺跡発掘速報 展」	19/2/27～ 4/20 開館 46 日	777 人 (16.9 人) 3/31 までは 514 名	報償費 20,000 円 印刷費 196,350 円 (ポスター、解説 図録)	顕著な発掘成果があった県内 3 か所、市内 1 か所の遺跡と出 土品などを紹介した。 3/17 講演会「台渡里廃寺跡の 発掘」参加者 70 名 4/14 考古学講座「上高井神明 遺跡の発掘」参加者 67 名

効果

今年は、市民の興味・関心の高いテーマで企画展を開催したことや、団体の来館者が増加したことにより、平成 11 年の開館以来最多の 7,836 人の来館者となった。これにより郷土史の理解を深めるとともに、埋蔵文化財行政や郷土資料収集保存事業など市の文化財行政に対する理解も深めることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.434

1001 体育指導委員に要する経費 1,858,940 円 (1,896,154 円)

[一財 1,858,940 円]

目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力及び自主企画によりニュースポーツの普及と拡大に努めた。

体育指導委員報酬 年額@49,000×29人=1,421,000円

効果

体育指導委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.434

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 11,017,000 円 (12,807,000 円)

[一財 11,017,000 円]

目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	29部 214団体	6,504人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	11連盟 40単位団	指導者 345人 団員 1,218人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各講習・研修会への参加

効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.436

2002 社会体育振興関係経費 1,508,672 円 (3,673,678 円)

[その他 176,700 円 一財 1,331,972 円]

* 特財内訳

[諸収入：各スポーツ大会参加費 114,000 円]

[諸収入：ビーチボールバレー用ボール売却代 62,700 円]

目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や教室を実施した。

(1)各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第 11 回小学生ドッジボール大会	223 人	取手グリーンスポーツセンター
第 38 回市民釣り大会	48 人	さくら湖 (小掘地先)
第 37 回市民ゴルフ大会	184 人	利根パークゴルフ場
第 3 回市民親善ソフトボール大会	192 人	取手緑地運動公園
第 15 回ソフトバレーボール大会	323 人	取手グリーンスポーツセンター
第 4 回フロアバレーボール大会	46 人	取手グリーンスポーツセンター
第 7 回グラウンドゴルフ大会	132 人	取手緑地運動公園
エンジョイ!ニュースポーツ体験会	26 人	取手グリーンスポーツセンター
第 35 回新春健康マラソン大会	1,739 人	取手緑地運動公園
第 13 回ふれあいウォーキング	雨天中止	市内コース
第 2 回市民ハイキング (春)	雨天中止	埼玉県飯能市・棒ノ嶺
第 2 回市民ハイキング (秋)	38 人	群馬県片品村・尾瀬ヶ原

効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.436

2003 スポーツ振興奨励関係経費 995,000 円 (280,000 円)

[一財 995,000 円]

目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動を支援する。

内容

県大会等に出場した者に対し、助成金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。また各町内会で実施されている運動会に対し助成した。

助成金交付対象 ・団体 12 件 ・個人 101 件

運動会助成交付地区名 ・白山町内会、台宿町内会

効果

助成金制度を充実することにより、市民の競技スポーツに対する振興策を高めることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.436

2006 生涯スポーツ振興事業関係経費 36,500 円 (65,639 円)

[一財 36,500 円]

目的

近年の少子化に伴い、スポーツ少年団や中学校の部活動の運営が困難な状況になってきている。その一方で、高齢化社会が進むなか、中高年の健康に対する意識はかなり高揚しておりスポーツ人口も年々増加している。

このようなことから、今後、学校体育施設等を中心に、地域住民が自主運営できる地域に根ざした総合型地域スポーツクラブの創設をめざす。

内容

旧取手市を三地区に分け、それぞれの地域性を生かしたクラブ育成を目標に、各地区の設立準備委員が中心に人材発掘・育成や地域住民への啓発活動を実施した。

また、市立小学校施設開放を利用してニュースポーツ体験会等のイベントを開催し、各地域住民のスポーツに対する関心度等の調査をするとともに、設立準備委員がクラブ運営を模擬体験することで設立後の活動に備えた。

効果

実際に地域毎の活動からは、そのライフスタイルやスポーツへの関心も様々であることがわかる。また、小学校ごとのイベントでは、その施設の特性に対応した運営が要求され、地域性のあるクラブ育成について再検討することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.436

2101 学校施設開放に要する経費 2,093,180 円 (2,502,689 円)

[一財 2,093,180 円]

目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H18	226 団体	366,808 人	26 校	60
H17	233 団体	392,236 人	26 校	60

効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.438

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 128,337,499 円
(177,630,504 円)

[その他 1,409,130円 一財 126,928,369円]

* 特財内訳

[寄附金：教育費寄附金 100,000円]

[諸収入：取手グリーンスポーツセンタープリペイドカード売却代 1,309,130円]

目的

生涯学習の拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

内容

今年度より、指定管理者による管理を実施した。

利用状況

(単位：人)

施設名	H18	H17	増減
室内プール	88,172	91,874	3,702
遊水プール	15,394	19,225	3,831
第一体育室	52,444	44,945	7,499
第二体育室	9,408	10,002	594
トレーニング室	39,000	34,978	4,022
柔道場	10,391	9,599	792
剣道場	14,177	13,528	649
弓道場	11,658	12,146	488
スポーツサウナ	273	289	16
健康相談室	78	147	69
スポーツ障害相談室	185	261	76
研修室	6,380	6,776	396
会議室	865	968	103
和室	557	441	116
その他	13,559	16,907	3,348
計	262,541	262,086	455

効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.438

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 35,716,860円(33,171,463円)

[その他 6,796,330円 一財 28,920,530円]

* 特財内訳

[使用料：テニスコート使用料 1,631,600円 野球場使用料 929,050円

多目的グラウンド使用料 397,350円 総合体育館使用料 2,574,700円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,200,000円]

[諸収入：コピー使用料 63,630円]

目的

生涯スポーツ振興の拠点として、藤代スポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適切な維持及び管理を行うことで、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

内容

(単位：人)

施設名	H18	H17	増減
アリーナ	25,274	24,938	336
レクリエーション室	3,975	4,298	323
多目的グラウンド	9,789	15,141	5,352
野球場	11,852	8,903	2,949
藤スポ・テニスコート	10,048	8,159	1,889
久賀テニスコート	858	1,019	161
会議室	1,488	1,135	353
合計	63,284	63,593	309

効果

年間を通じて、市民のスポーツ振興の拠点として健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.440

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 4,884,685 円 (4,529,206 円)

[一財 4,884,685 円]

目的

藤代武道場の円滑な管理運営を図ることで、市民の健康増進と団体相互の交流を深める。

内容

(単位：人)

施設名	H18	H17	増減
柔道場	15,293	14,607	686
小剣道場	16,968	16,992	24
弓道場	2,943	2,676	267
師範室	1,792	1,894	102
合計	36,996	36,169	827

効果

幅広い年代層の利用により、市民の健康増進や交流に寄与することができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：保健給食課] P.442

2001 給食センター運営に要する経費 141,574,349 円 (140,642,159 円)

[その他 128,037,820 円 一財 13,536,529 円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 2,238,741 円]

[諸収入：小学校給食代(センター分) 78,318,590 円]

[諸収入：中学校給食代(センター分) 47,480,489 円]

目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料(職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査)及び負担金等である。

効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：保健給食課] P.444

2101 給食センター施設整備に要する経費 26,955,663 円 (41,602,017 円)

[一財 26,955,663 円]

目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費

(単位：円)

項目	内容	金額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,439,015
修繕料	調理器具等修繕料	1,519,076

(2) 委託料

(単位：円)

項目	内容	金額
警備委託	施設警備	176,400
汚水処理施設保守点検委託	合併浄化槽の保守点検	1,260,000
給食運搬業務委託	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	13,288,000
電気保安業務委託	電気設備の安全管理	124,950
受水槽清掃委託	受水槽の清掃	108,150
空調機保守点検委託	空調機の保守点検	147,000
ボイラー及びボイラージタンク定期点検整備	年 1 回の定期検査受験前の点検整備	438,900
真空冷却機点検委託	真空冷却機の点検	336,000
重油タンク清掃委託	重油タンクの清掃	149,100
燃焼排気ダクト清掃委託	排気ダクトの清掃	150,150
ガス空調機保守点検委託	ガス空調機保守点検	437,850
浄化槽油脂汲取清掃委託	浄化槽の油脂汲み取り清掃年 4 回	609,000

(3) 備品

項目	内容	金額
合成調理機	野菜切り機	207,900

効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に給食予定日数のとおり給食を提供することができた。